



ボランティアニュース

Vol. 192 2019年10月号

発行 神奈川県立こども医療センター オレンジクラブ事務局

編集責任者 ボランティアコーディネーター 加藤 悦典

〒232-8555 横浜市南区六ツ川 2-138-4 Tel. 045-711-2351 (代表)

ホームページ <https://orangeclub.kcmcvolunteer.com/>

e-mail kcmcvolunteer@kanagawa-pho.jp

おもちゃを皆さんに

見ていただきました

病児と家族のおもちゃと遊びのボランティア

シャボン玉 関 義武

九月十二日(木) 講堂におもちゃを並べ皆様に見ていただきました。

これはシャボン玉が一年に一度 普段我々の活動をのぞいていただけでない利用者の皆様 病院のお医者様看護師の皆様 職員の皆様にしやぼん玉の活動の一端を知っていただきたく開催しています。 普段 外来や病棟で使っているおもちゃたちを持って来ました。当日は 来場の皆様におもちゃたちが「僕と遊んでほしい」と声を掛けているようです。

子どもたちは 手に取って嬉しそうにしています。お医者様も「今年の新しいおもちゃはどれですか」と声を掛けてくれました。今年デビューしたおもちゃが身を乗り出して訴えています。ファイボナッチツリーの大小の二人は葉っぱを拡げてアピールしています。木の葉っぱが日光を受けるために 互い違いに葉を広げる様子を示したおもちゃです。一生懸命生きていく姿を見せてくれています。定番のお魚パズルも今にも水槽から飛び出そうとしているように見えます。このパズルは意外と難しく、元に戻すのに苦労している人がたくさんいました。それ

を見た魚たちは にやにやしているように思いました。こっちの机には 重心の子どもたちにも喜んでもらいたいおもちゃたちがまっています。音と風と振動が同時に出てきて五感をくすぐる仕掛けです。おもちゃたちが『どうだ、すごいだろう』と言っているように聞こえます。5段くらい重なった 人間のパズルは内臓：骨格・筋肉・皮膚・等人体を表現していて『あなたの体はこんな風にかけているのだよ』と説明しています。自分の声を聴く受話器は『これが本当のあなたの声だよ』と言っています。では 普段自分が感じている声は何なんでしょうね？ わからなくなりました。

皆さんとおもちゃと遊んでいるうちに終った時刻になり、おもちゃたちは体育館の寝床に帰っていきました。当日は、大人の人109人 子どもたち88人 病院のスタッフの皆さん12人全部で209人の方がおもちゃたちを訪ねてくれました。 皆さんありがとうございました。





(総合待合室にて)



「折り紙のカエルで
ギネス世界記録に挑戦し認定！」

日本ホスピタル・クラウン協会主催で全国各地の病院で入院し、病氣と闘っている子どもたちが、「早く病氣が治って家に帰る」という願いを込めて折り紙で作ったカエルの数がギネス世界記録に認定されました。

センターに入院所されているお子さんもたくさんのカエル作ってくれました。九月十六日に総合待合室でイベントが行われました。

参加してくれた皆さんも世界一のお一人です。おめでとうございます。



アマゾンロボテックス体験トラックが
こども医療センターにやって来た！

九月二七日入院しているお子さんに、プレゼント贈呈のために、移動式のアマゾンロボテックス体験トラックが来ました。たくさんの方がイベントを楽しみました。

アマゾンの皆さんと川崎フロンタールの皆さんと認定する法人ゴールドリボン・ネットワークの皆さんのご協力でした。

ありがとうございました

指先から届けてきた笑顔

もっと多くの子どもたちへ・・・

指で読む絵本「あじさいの会」 山本京子
二八年前、当初視覚障害児のために「指で読む絵」の制作を始め、実際に視覚障害の子どもたちと触れ合いながら、作品作りに工夫を重ねてきました。現在会員は二十名、横浜市立盲特別支援学校を起点に多くの作品を寄付してきました。絵本や課題図書、教材を、文章は点訳し、挿絵は指で触ってわかるように立体的に作り台紙に貼ります。布、皮、紙ほか様々な素材を使い、実際になるべく近いような形、触感、柔らかさを目指して作っています。また、子どもたちの好きな迷路は、細い指でたどれるように、ひごなどを加工し工夫しています。幼稚部の子どもたちに、指で触れる楽しさを知る教材として、また点字を習い始める子どもたちには楽しく遊び理解を深めるための補助的なものとして大きな役割をはたしています。

四年前からは、上菅田特別支援学校にも作品を収め、生徒さんに楽しんでもらうと共に、図書係のお母さんたちと共に一緒に制作しながら、物づくりを楽しんでもらっています。

そして、昨年からはこども医療センターに作品を収め始めました。迷路、絵本等まだ数点ですが、触って愉しむことができる私たちの作品を触って、感じて、楽しんでほしいと、相手によ

って少し工夫することで、もっともっと多くの子どもさんたちの笑顔が少しでもおおくなることを願って作品をお届けしたいと思っています。



(写真上は頂いた果物の本をお話会ぼぼんたの皆さんが病棟で使い、お子さんが触って楽しんでいるところ。下は、パズルでなぞって遊べます。病棟や作業療法室に届けています。加藤)

ピアノの仲間とそのお子さんが、第二回目のコンサートを十日に開催。長谷山理也さんのピアノや仲間のウクレレ演奏。総合待合では皆さんと共に歌い、温かいコンサートになりました。

ぼぼんた通信

キクちゃん

ぼぼんたは、こども医療センターの入院・通院している子ども達に、ひとときの楽しい時間を提供している。勿論自分たちも十分に楽しんでいますが。そのメンバーの中に、バングラデシュに井戸を掘る事業の為にチャリティーハートフルコンサートを20年近く開催しているKUSさん(仮名)、想い出の曲を皆で歌おう、チャリティーコンサートの主催者KOGさん(仮名)がいる。

KOGさんはコンサートの収益金を横浜こどもホスピスプロジェクトに全額寄付されるそうだ。KUSさんもKOGさんもお子さんを亡くし、立ち直れないほどの深い悲しみの中で、今度は、病气や貧困の子ども達に目を向け、愛の手を差し伸べる力はどこから湧き上がるのだろうか？

9月28日 KOGさん主催の「空へ」会いたくて、チャリティーコンサートへ出かけた。リクエスト曲には想い出の言葉が添えられ、リクエストされた方の思いが伝わってくる。

小田急線添いのライブハウスでお茶とケーキを頂きながら、シンガーソングライター陣内大蔵さんのオリジナル曲を聴き、KOGさん作詞に陣内大蔵さんが曲を付けた、葉風(はかせ) 風鈴(ふうりん)を聴いた。





<2019年10月活動スケジュール>



月	火	水	木	金
	1	2	3	4
		Sホスピタル/5西		
7	8	9	10	11
おもちゃ/am重心 ・pm4南 吊るし雛 ボランティア調整会議 第1会議室 14:00~15:30	Hクラウン/am5南、ク ・pm4西、総合待合 園芸 おもちゃ外来 ボランティア研修会 講堂13:00~16:30	縫製 手作り 手芸	ピタゴラスイッチ 総合待合 11:30~12:15 14:15~15:00 斎藤守也ピアノコ ンサート 重心15:00~ 総合待合17:00~ 外来ミーティング	Sホスピタル/4西
14	15	16	17	18
	フラダンス/こころ、重 心、総合待合	Sホスピタル/5西 縫製	ステッカーアート/4西、 4東、ク ン	おもちゃ/am肢 体・pm5西
21	22	23	24	25
フットサル 入院			シルクアート 総合待合 作業	Sホスピタル4南 手形アート総合 待合11:00~12 :30
28	29	30	31	
フットサル 外来	Hクラウン/am4南、マイケ 2・pmこころ、総合待 合	村上ピアノ演奏 総合待合11:15~重 心12:00~ 手芸		

<その他の活動>

- ・毎週月曜日 フラワーアレンジメント
 - ・毎週火曜日 高野さんとピアノで歌おう！（10:00~10:40）
 - ・毎週水曜日 ポポンタ
 - ・毎週月、水、金曜日 きょうだい預かり（10:30~16:00）
 - ・毎週火、金曜日 重心作業
 - ・月~金曜日 患者図書室/外来

 - ・毎日曜日（13:30~15:30） チャイルドウィッシュきょうだい預かり
 - ・火~金曜日（10:00~15:00） ピアサポート
- （イラストはヨシタケシンスケさんの最新のイラストです。）

